

朝日新聞

発行元 湘南新聞販売(株)
253-0044
茅ヶ崎市新栄町1-14
TEL 0467-82-3416
発行責任者 小林 繁
編集室長 長久保 雅生

スタッフ 竹内 博 高見澤 和子
只野 かつみ 中村 真由美
編集室
TEL 0467-82-3618
FAX 0467-82-3634
(E-mail) fureai@asahi.email.ne.jp

2001年3月7日(水) 第40号
広告部
TEL 0467-82-3654
～配布エリア：茅ヶ崎市・寒川町
全域、藤沢市・綾瀬市の一部～

障害者と家族へ24時間サービス

がんばる「トムトム」

茅ヶ崎・萩園

障害をもつ子どもや大人が地域で暮らすために必要なサービスを、基本的には365日、24時間提供している、パーソナルサービスセンター「トムトム」(茅ヶ崎市萩園。代表・上杉桂子さん)。本人のための生活支援だけでなく、家族に必要な支援もしている。1999年7月、障害を持つ子どもの親たちが中心になって、設立。当初の会員家庭数19が43に増えている。

トムトムへ通う茅ヶ崎市内の鈴木志歩君は、日(月)の午後2時20分、県立養護学校の小学4年生で、自閉傾向がある知的障害児。2月19日(月)の午後2時20分、トムトムの常勤職員、角田沙弥さん(20歳)が車で学校へ迎えにいき、トムトムですこし、5時に車で自宅へ送った。月曜日にトムトムを利用することが多い。母親が下の子の絵画教室の送迎をしているからだ。「家にひとりでおいておくわけにはいかない。車に乗せると、どこか楽しいところに連れて行ってもらえるかと期待してしまい、がっかりして機嫌が悪くなるので」と母親の七子さん。志歩君がトムトムで、好きな本を



「ながあーい夏休みを、どう過ごすかはハンディのある子どもや家族にとって大きな問題。8月は通常の2倍以上の利用があつて、常勤、非常勤、ボランティアスタッフはフル回転。プール遊びは、なんと1日でも大人気。昨年8月トムトムで

たくさんひろげ、機関車トーマスを手で動かして遊んでいる間に、買い物も済ませ、夕食の支度。

トムトムの運営委員や養護学校の役員をしている鈴木さんは忙しい。トムトムがマンツーマンで見えてあげるようには出来ない。志歩君はトムトムが大好きだ。「子どもが喜ぶので、有料でも家計の許す限り利用しています」

利用料は高いが

代表の上杉さんは「昔は家族ががんばるのが美德とされたが、子供のためにも親が背負い込み過ぎるのはやめよう」という。「利用料が高い」といわれている。しかし、3人の常勤職員の給料は月、手取り12万6千円。高給ではない。常勤職員としてトムトムを引っ張っている

代表の上杉さんは「昔は家族ががんばるのが美德とされたが、子供のためにも親が背負い込み過ぎるのはやめよう」という。「利用料が高い」といわれている。しかし、3人の常勤職員の給料は月、手取り12万6千円。高給ではない。常勤職員としてトムトムを引っ張っている

会員種別	利用年間/年	利用料/時間	夜間料金		学童クラブ	生会費 向入会 月割額
			宿泊料/泊	利用料/時間		
会員S	800時間以上	650	900 5,400	550	150,000 13,800	
会員A	119～800 時間未満	700	950 5,800	600	110,000 10,120	
会員B	30～119 時間未満	1,200	1,500 10,000	1,000	50,000 4,600	
会員C	30時間未満	2,000	2,400 16,000	1,500	25,000 2,300	

ケアマネージャーでもある。勤めていた知的障害者の人所施設を辞めてトムトムに来たのは、利用者一人ひとりにあつたサービスをやる仕事が出来たから。そうはいっても「この給料では、ひとりで何年も続けられない」ともいう。職員の給料をふくめ、運営経費のほとんどが会員の年会費と利用料でまかなわれているからだ。

NPOへ

時代は動いている。県は100億円の「ポランタリー活動推進基金21」を創設するといふ。2003年度には、障害者の福祉のしくみが変わる。高齢者の介護保険のように、利用者がサービスと事業者を選ぶことになるのだ。

トムトムは外出に付き添うガイドヘルパーの「指定事業者」になりたいと考えている。「NPO(特定非営利活動法人)になれば、どこからかお金が下りてくる。なんてことは、あり得ない話」だが、社会的信用があがる。生き残るために、なおく必要があると判断した。幸いなことに、

4月にはNPOに認証される予定だ。こんな風に利用されています。●平日は地域作業所に通い、休日はトムトムで過ごす。●散歩が大好きな子どもは何時間でもつきあってもらえる。●子どもが買いたい物、●医者にいくのはかなり大変。●親のサポートとして、●一緒に遊んでもらう。●親が共働きなら、放課後からお迎えの時間までトムトムで過ごす。●残業になっても大丈夫。●親が急用で外出するときは、自宅で一緒に留守番。お泊りも。●温水プールに連れて行ってもらおう。平塚市総合公園、藤沢市秋葉台公園、藤沢市秋葉台公園プールが人気。●問い合わせ電話/FAX 0467(88)8335 ●茅ヶ崎市の障害児(者)生活サポート事業1998年からスタート。県が市町村をおいて、時間から送迎サービス、外出援助をする社会福祉法人や非営利団体にも補助金を支払う。